

2022年サポーターミーティング議事録

開催日時：2022年2月16日（水）19：00～

開催場所：オンライン（ZOOM）にて

参加者：武政社長、サポーターの皆様

■昨期の最終戦の前に発表された青木選手の契約終了について、吉本新監督の意向が反映されているのか

昨シーズン終了後から吉本新監督の発表までの間の退団選手と加入選手には吉本監督の意向は反映されているのか

→個人の意見には触れないが、選手の契約に関してクラブとしての判断をお伝えさせていただくと、強化部で選手のスキルについて協議し、その後日頃の生活態度やイベント参加時等の対応など、フロントの意見も加味し、判断させてもらっている。
また選手獲得のところも同様に、能力や人間性をいろんな角度から判断し、意見を出し合ってクラブとして決めています。

■J3参入に向けて、今後のプラン（計画）を具体的に教えてほしい

→2月末に百年構想クラブ申請の承認が下りる予定。

その後6月にあるJ3クラブライセンス申請予定

リーグを通して順位、来場者数（平均2000人）の達成に向けて取り組んでいく

■ファンレター、プレゼント等送り先は事務局で良いのか、また送っては行けないプレゼントがありましたら教えていただきたいです。

→事務局で結構です。

選手に届くまで多少のタイムラグがあるため、あまりにも賞味期限が短すぎるものなどはご留意いただきたい。

■2021年シーズンの総括について。よかった点と悪かった点、反省点について教えてほしい。悪かった点をどう改善するかについても知りたい。

→サポーターの皆様が目線と言うならば最終成績13位で終了した点が悪かった点として一つあるのではないかと。

結果だけで言えば前期はととてもよく戦ってくれていたが、後期苦戦した。

原因は沢山あり色々なことが絡み合っただけの結果だと思うが、一番の原因はクラブが現場に戦える材料を与えられなかったことだと思っている。

改善するにはクラブが資金集めの努力と結果を出す必要があります。

■新加入選手について。昨年は大卒選手中心、今年は J クラブ出身選手中心の補強となっているが、その理由や要因について教えてほしい。

→ロードマップ（※参考）と勝負の 2022 年

昨年大卒選手が多かった理由としては、2020 年に百年構想クラブ申請ができておらず、仮に順位がよくても昇格できない年であり、順位も 8 位を目標としていた。そのため大卒の選手をどれだけ育成できるかが昨年の課題でもあった。百年構想クラブ申請をし、2022 年に J リーグ参入へチャレンジするため、成長した昨年の大卒組と、今年の即戦力組を合わせて、2022 年が勝負の年と考えている。

また、今年もレギュラークラスの選手が多く退団したが、どのような補強ポイントを考えて新入団の選手を選んだか意図を説明して欲しい。

→地域リーグの時から毎年レギュラーの選手 5 人がパワーアップした選手に入れ替わるほどの補強ができればチーム力が上がっていくイメージを持って選手の獲得を行っている。

大卒の選手を 1 年で契約満了にすることが多いと、今後大卒の選手から入団を敬遠されないか心配。

→大卒の選手が 1 年で退団となった場合は選手の関係者（大学等）には必ずお礼と報告は怠らずしており、クラブとしては関係性が保てるように努力している。

※参考）クラブのロードマップ

2021 年 11 月末までに百年構想クラブを申請

2022 年シーズン 4 位以内、J3 ライセンス基準クリア

2023 年 J3 参入

■百年構想のヒアリングについて、こういったやりとりがあったのか内容を詳しく教えてほしい。

→県・市・サッカー協会などクラブ以外の方々のサポートや支援・協力体制や考え方の確認に来られた。J リーグの見解として高知県は非常に協力的といった評価をもらった。クラブに対しては、経営状況や組織に関する質問が多かったです。

■春野陸上競技場での試合開催が、8 割以上となる調整はついたのか。

→高知県、陸上競技協会様と協議を重ね、できる限りのご協力を頂けることになっている。高知県も協力していくという意向もいただいたので一定の調整はついたと思っています。

■前年度は赤字と聞いているが

→2021年は巨額の赤字を抱えたが、百年構想クラブとしては赤字を抱えているかよりも債務超過の有無問題の方が重要で、短期的に資金ショートしないかどうかが見られる。
出資者の皆様のご協力により1月末の決算の時点で債務超過については解消される予定。

■今年度は新規のクラウドファンディングを何か考えているか。

→昨年はYouTube配信をすることで募集したが、始めるとなるとやはり目的が必要だと感じている。

今年は違った形でクラウドファンディングを検討しているが、まだ具体的に目的などが決まっていない状態。

■宿毛のスタジアムはライセンスが通るならスタジアムとして使えないのか。また幡多地域をホームタウン化するのはどうか。

→現時点では宿毛のスタジアムはライセンスをクリアできる状態ではないため使用不可。

ホームタウン化については、以前に宿毛市長にスタジアムの構想（改修）も含め相談した経緯がありますが、「ホームタウンは高知市を中心とする高知県全域」としてあるので県内すべてホームタウンになります。

■紅白戦、新体制発表会の開催の予定はあるか？

→2月27日（日）に紅白戦を予定している。（コロナの状況もあり変更する可能性あり）
その際に、新体制も発表させて頂ければと考えている。

また、本日ネーミングのこともあり、HP・Twitter・FBなどにネーミングを公募のリリースを行った。締め切りが今週の土曜日となっており沢山の応募をお待ちしている。採用された方にはレプリカユニフォームのプレゼントを予定している。

■新規スポンサーの獲得に向けて、何か対策はあるか。

→細かなプランについてはこれからだが、一番のクラブの問題は胸のメインスポンサーがないという点。今年はまた高知家になっており、ここは注力してやっていきたい。

その他、高知県内外の企業にアタックしていく。すでにお断りをいただいている企業へも再アタックし、まだ訪問できていない企業へのアタックも行っていく。また、選手個人の応援のぼり企画など新しいメニューを増やしていく。

■ホームタウンの高知県、高知市との協力体制について教えてほしい。

→重複にはなるが、百年構想のJリーグからのヒアリングでは、県も市も協力体制であることは約束していただいている。内容については今後協議しながら進めていきたい。

■ユニフォームサプライヤーを、ボネーラからアスレタに変更した理由は？

→サプライヤー契約に関するところであり、詳細はお伝え出来ないがクラブをサポートするご提案の内容で判断させていただいた。

■ホームタウンとしてユニフォームの袖部分に記載してほしい

→確認したところ、右袖に表示できるので、2023年以降検討する。

■スタジアムグルメの売店に、おにぎりやうどん（あっさりした炭水化物系）も欲しい。

→出店グループにお伝えしておく。売上見込みもあると思われるため約束はできませんが、ご要望があるということはお伝えさせていただく。

■百年構想クラブの申請が可決された場合はクラブのロードマップを目指す事でいいのか。

仮に否決された場合はJリーグ参入が今年度という話にはならないため、来年度(23年度)以降に再度申請になると思うが、申請に伴う最大の要因が解消されなかった事が今回の主たる原因であれば今後解消される見通しはあるのか否か。

また、去年、書かれていたホーム戦の会場問題に関して、陸上関係者との間では調整はついているのか。

→2月末には百年構想クラブの申請の結果が出る予定でおそらく承認される見込み。申請がおりた場合は順位が4位以内を目指していく。仮に通らなかった場合はでも、再度百年構想クラブの申請をする。またホーム戦会場問題は引き続き調整をつけていただく見込み。

■コロナの影響もあると思うが債務超過はどうなっているか。改善の動きはみられるのか。

それを踏まえて胸スポンサーが再度「高知家」を使うという事は逆に大口スポンサーが見つからなかったのか。

あと、広く県民に訴えて少額を集めても(個人の額には限度がある)そこまで改善されるとは思わない。それなら担当直入に「お金が無いからスポンサーお願いします。」と訴えたほうがまだ早いのでは。

胸スポンサーの値段設定が高くスポンサーが見つからなかったのであれば多少下げる事も踏まえて考えてよかったのでは。特に地元高知にゆかりのある企業さんに長期的にお願いする事も必要かと思う。(何も無いよりは有る方が有難く、企業さんにとっても広告媒体としても多少は価値があると感じるが)

→胸スポンサーについてはスポンサー企業が見つからず高知家になった。他クラブと比べることではないと思うが、スポンサーが取れていないのは事実で努力が必要。

現状、行政からの出資はどうなっているのか。

→今のところ行政からの出資はないが、今後お願いをしていくことも必要かもしれません。

■ホーム戦平均観客動員数はクリアできるのか。詳しい今年度の試合要綱を確認していないが、もし動員の規定があるならば厳しく、少しでも球技場での試合を減らすべきではないか。会場間でのキャパの問題もある他、天候及び開催時期も絡んでくるため難しいのではないか。コロナによりここ2年は入場者数という条件がなくなっており、成績と会場問題がクリアすればほぼ無条件でJ3への参入が確定している今こそがチャンスでは。

→コロナの影響があるかもしれないが、今年に関して入場者数は問われるため、平均2000人の集客が必要となってくる。ご指摘のとおり球技場で開催した際には他の試合会場へのしわ寄せがあることが考えられる。毎試合2000人というよりもスポットで5000人呼ぶ、などしてベースをあげることが必要ではないかと考えている。

現時点ではJ3ライセンスが通るスタジアムが春野陸上競技場しかないため、陸上競技場での開催が必須となる。先日のヒアリング会議では県からとてもいい返事をいただいております。陸上競技場での開催については可能性を感じている。JFLの開催についても現状ご協力いただいている。

■観客増のための計画はあるか。

→サッカーに興味がない方をどうやって振り向かせるかが難しく重要。今回、高知県と一緒に連携して子どもたちがもっと来場しやすくなる取り組みを検討している。ただ、子どもだけの来場では収益にはならないため、収益については別の手だてを考えないといけない。

■高知の人は選手を知ればもっと好きになると思うが。

→コロナの影響もあり活動がかなり制限されて、イベントなどにあまり参加ができなかった。活動可能な選手も増え、機会があればどんどん積極的に参加していきたい。また、今年は広報の面でも選手個人の露出などを増やしていきたいと考えており、なにか皆様の方からもご意見などあればいただきたい。

■選手の入替わりが激しいのでは

→選手の入替えは上を目指す為にも必要となる。長く選手がいてくれた方が顔も覚えてもらえ応援もしていただきやすいということは十分理解しているが、ここまできた以上、このステージから落とすわけにはいかないという思いや使命も感じておりご理解いただきながらともに戦っていただきたい。

■例えば松本選手などはとても活躍していたように感じるが、補強の面や集客なども必要だったと感じておりもう少し大事にしてほしいと思っている。

→色々な角度から判断させていただきたい。

■入場者の昨年度からの減少はどう感じているか。一昨年度から比べると平均入場者数が有観客数7試合667名→16試合454名と200名程減少している。

なかなか比較するのは難しい事ではあると思うが、試合数の多さは前年比の倍になったとは言え、各会場数（陸上8、球技場5、宿毛3）から考慮しても、球技場での試合数増加及び入場者数制限と宿毛での天候の悪さ及び延期分の平日開催があった事により平均数が減ったと思う。

→ご指摘の通り。入場者が減った要因はいくつかあると思うが、総じて悪天候の影響があったことや、入場者制限などもあったため積極的に来場への広報もできず、YouTube配信での観戦をお願いすることもありうまく来場者数へと繋げられなかった

コロナの影響によりわざわざ出向くよりはネット配信でみたらいいと思っている者もいたのでは。（逆に、今年はJFLに任せる配信の形がどうなるのかとは思っているが、以前は試合を厳選して放送していたのがコロナ禍を理由に全試合が基本無料で視られる事になったのが減少の原因の一つであれば多少は考えるべき事案と思っている。）

→YouTube配信に関しては今年も要望をたくさんいただいたが、今年に関してはJFLチャンネルにてお楽しみいただきたい。チケット収入のことなど考えると今後吟味する必要があると思います。

■一年間、フル参戦をしたチームの総括。

サポーターは成績を基準に見て判断するが、何故そのような成績になったのか、どこが良くてどこがダメだったのか、そのあたりを精査して今期に繋げる事ができるのか詳しい詳細を出してもらいたい。

→こちらの内容についても重複にはなるが、選手の獲得・補強は精一杯やっているが皆様の期待に応えることができなかった。主力選手にケガもあったほか、大学生の育成も含め戦ってきたが、大学生も毎週毎週戦っていく体を持っておらず好不調の波があったし、クラブとしても戦っていくパワーがなかった。おそらくJFLクラブの中でも、現場にかける予算は少ない方だと思われる。その中で選手・スタッフは一生懸命やってくれていると個人的には評価をしている。地域リーグ時代から勝ちながら選手を育成していくという大変な仕事であるが、今年もそこを目指して現場に託している。

これは個人的な意見ではあるが、今年監督が交代となったことについて、去年度から一部のサポーターから監督の更迭を訴える意見が出ていたのは知っており、会場においても同じような行動を行っていた者がいたのは知っている。今年、どんな成績(上位含めて下位で終わる、もしくは降格の状況になろうが)であれ1年での交代は極力考えないでほし

い。資金的に交代が難しいのもあるだろうが、たかだか1年で結果が出るようなリーグではないと思っており、やるなら最低でも2年若しくは3年は腹を据えてやってほしい。外部の声に屈しないようにしてもらいたい。

→指導者を長期的にみてほしいといったご意見、ありがとうございます。

■去年の官公庁販売を含めたPR活動の実績並びに結果について

手応えまたは幅広く活動できたのか。練習後に働いている選手の事を考えるとなかなか難しいとは思いますが選手と直接触れてもらい、その場での会話も含めてのファンサービスをする事が少しでも集客に繋がるようであるなら、選手に動いてもらう事も必要ではないか。選手も自ら地域に進んで入る事が地域とのあり方ではないか。

→高知県内の各市町村へのPR活動も増やしていきたい。

またその他の各地域などのイベントも積極的に参加していきたい。

高知県庁へは選手全員で庁舎販売をさせていただきました。グッズ、チケット、寄付金など沢山売上もあり約70~80万円ほどの売り上げもあった。その他吉本監督の地元四万十市への庁舎販売へ行かせていただいた。官公庁だけでなくスポンサー企業への販売活動といった活動なども増やしていきたい。

■HPやSNSへの記載の誤りがあったら速やかに修正を。

多少良くなったのではと思うが、少ない人数で行っており仕方ないところも理解している。

→今年は宮地が担当となり、投稿する際には複数人でチェックをし、ミスを減らしたいと思っている。もしミスなどを見つけた場合はクラブへお知らせいただきたい。

■今年の試合配信の状況及び今年度のテレビ中継の有無はどうか。チームからの配信が無くなったのでJFLチャンネルでの配信になりアウェイ戦を含めた全試合の視聴は可能か。また、テレビ高知さんにより夏に1試合放送があったが今年の手配はあるか。あと、地域に根差すのであれば放送のコンテンツをケーブル局にも波及できないものか。

ケーブルテレビでは高校のプリンスリーグを放送しており、以前天皇杯の試合を当日夜に放送した事もあったため働きかけするのはどうか。来年以降J3に昇格すればDAZNでの配信になると思うが、もしJFLに残った場合はどうしていくのか。高知ファイティングドックスの中継で採用しているチケット制での配信なども考慮すべきかと。

→全試合JFLチャンネルにて全試合(ホーム・アウェイ)視聴可能の手配です。またテレビ高知さんによる放送については計画中であり、今年の手配の試合でできないか交渉中。ケーブルテレビさんについては、今後相談してみたい。高知FDのように有料配信も検討しますが、配信をするにあたり放映権や放映料、システム費用などを勘案し進めたい。

■公式用ユニフォームについて、デザインや配色は一昨年の形に近くなり新規一転という所なのか。また、毎年ユニフォームのデザインはリニューアルするとの事だが背番号の下部に選手の名前を入れてもらう事は可能か。毎年、選手が変わっており名前と背番号がなかなか一致せず選手も覚えてもらう意味も込めて出来ないものか。

→選手のユニフォームに名前を入れること自体は可能。ただ、時間的な問題でオーダーをする時点では選手が決まっていないこともあり難しい。追加で名前を貼りで入れることも可能だがコストのこともありそこまでの対応はしていない。来年以降についてはメーカーに相談してみます。

サポーターも毎年ユニフォームを作る方は作るが、選手個々の名前が入った場合、売り上げの一部が選手個々に入ったりするのか。少しでもお互いがWIN-WINの形が作れないものか。

→選手個人のユニフォーム販売のインセンティブについて現状そういった仕組みは今ありません。今後検討してみたい。

■今シーズンの目標について

去年目標を8位と聞いたので前半の勢いではその可能性も多少あると思っていたが、後半戦の失速から思わぬ入れ替え戦争いに片脚を突っ込んだ状況で残り5試合を戦った印象が未だに拭いきれず、最終節のホーム戦は観るに堪えがたいものとなってしまった感がある。

一昨年度から大幅に選手を入れ替えた昨年度はその教訓を活かせず、再度昨年末の大幅な選手入れ替えを引き起こし2年連続で同じことを繰り返したにすぎなかったと思っている。監督交代に関しては単なる内部昇格に過ぎない。現状、ヘッドコーチが未だ確定していないのも気になる。選手の補強もFWはもう少し力を入れてもいいのでは。

再度確認にはなるが、申請が受理されたら今年度はJ3参入に向けての年間4位以内を目指すことになるが、仮に申請が不受理された場合はどこを目指す戦い方になるのか、そのあたりの詳しい目標を教えてほしい。

→申請が受理されない場合でも、4位以内を目標にすることには変わりはなく、申請についても改めて行っていく。監督交代については吉本コーチが監督へ、ヘッドコーチについては立田コーチがヘッドコーチ就任となり、内部昇格にはなることには変わらないが、それぞれが上位の指導者ライセンスを取得するなどスキルを高めており、適した人材だと判断している。ぜひ応援していただきたい。

■年間パスポートの販売及び観戦チケットの料金改定、応援のぼりスポンウチの入場料は、他と比べそこまで高くなく良心的と思っており、このご時世、何もかも値上がりしている

ので苦渋の決断にはなると思うが、少しでも収入を上げる意味でチケットの料金改定とかは考えるべきではなかったのか。(大人で前売り 1,000 円など。奈良や大分は前売りで 1,200 円なので問題ないと思いますが・・)

あと、年間パスの在り方なり販売の可能性を今年はあるか。

それに付随する形で無料招待券の在り方はどのように考えているのか。余りにも関係各社にバラ撒きすぎると入場料収入が減る事となるのでは。

ファイティングドックスさんのノウハウを活かす形で選手個人の「応援のぼり」とか企画してはどうか。去年の試合を見ていたら選手個々の応援幕をいくつか見かけたがおそらくスポンサー企業が作ってくれた物が多いのでは。チームよりは個人というサポーターも一定数はいるのでは。今回、企画するのであれば金額設定を抑えつつ少しでも選手とチームに還元できるようにできないものか。

→入場券に関しては値上げしたいと思っているが今回は据え置きとさせていただいた。次回以降はぜひ皆様のご意見も参考にさせていただきたい。

無料招待券については、基本的にスポンサーにしかお配りしておらず、むやみに配っているということはない。

のぼり企画は現在計画中となり、個人の応援のぼりについてはまもなくオープンになる予定。

■駐車場の問題について

去年の最終戦に陸上競技場とのイベントが重なり、駐車場問題が発生した。その際は使っていないグラウンドを開放してくれ多少なりとも回避できたと思うが、運動公園内の駐車場キャパを考えると今後も起きる可能性は高いのでは。臨時駐車場の情報は公式から出してもらう事は勿論ですが、特に会場内での大規模イベントが重なる時は、前日あたりに関係各位と話をし情報を出してもらう事は可能なのか。

現地での駐車場が少ないの見越して、近隣の駐車場が使えるとなると競馬場あたりが最適になると思うが、会場とのピストン輸送等は考えているのか。(現状の入場者数だとなかなか難しい側面はあると思うが)

→駐車場の問題を今解決することは難しいので、込み合うことが予想される場合は、SNSなどで事前にお伝えしたい。

アクトランドとのコラボでチケット販売と会場までの送迎になっていたが効果のほうはあったのか。

→アクトランドさんとのコラボチケットに関しては数十人の利用に留まった。来年のコラボチケットについては未定。

■今年も各会場を本拠地に行っている県知事や市長を来場させて今後に向けての交流は考え

ていますか？

→開幕戦の確認等現在調整していただいている。

■去年、行ったナイターでの試合の効果はどうだったか。天候の問題があるので一概には言えないが、選手並びに対戦チーム含めての意見はどうだったか。

特に夏場は観客や選手への暑さなどの負担が和らぐなら、関係各所への問題(会場の時間設定や近隣へのナイター問題や騒音を含めて)も考慮の上、年に一度は企画してもいいのではないか。

→昨年、気合を入れて取り組んだナイター企画であったが、悪天候の影響が大きく、予想していた人数よりはるかに下回った来場者数に終わった。選手に関しては涼しい時間帯でもあるため試合環境としてはよかったのではないか。問題としてはナイターゲームを開催すると別途費用がかかる。集客の一環としてナイターが起爆剤の一つになるのではと、シャトルバスを運行し、飲食を充実したりなどして取り組んでみたが、打ちのめされた現実には経営判断の面でも難しく感じている。

今年は11月に開催予定となっている。

■チームの情報公開の在り方

現状、色んなチームが高知でキャンプを行っているが、ここ数年はコロナの影響もありTMの非公開が多い。相手側との問題になって来るのでなかなか難しいとは思いますが、「地域と共に」を伝えるのであれば少しでも観客を入れる事はできないものか。(コロナ対応や消毒なり席の問題等ありますが)

観客が難しいのであればせめてマスコミだけでも伝えて新聞記事なり映像にしてもらう事も大事ではないか。この時期何をしているのかイマイチ判らない人もいるため、見てもらう事や各媒体に上げてもらう事が少しでも認知度をあげることに繋がるのでは。

→相手チームがJクラブなど格上のチームも多く相手チームとの相談となり公開が難しいことが多い。我々は皆さんに見ていただきたいが、コロナの関係や、チームの戦術などの関係で公開できない試合が続いているのがご理解いただきたい。

昨年のシーズン中に主力の選手がひと月程試合に出なかった事があった。知らない人は何故？と思うし、ある程度経って新聞記事になってから知った有様。チームからの公式発表は無かったはず。チームとしてケガ人が出た時に今後どういう対応をしていくのか。

→ケガなどについて、あらかじめケガなどによる長期離脱については、発表すべきかと思う、当初の見立てと回復が合わない場合や、治りかけていたところで再発など状況によることもあるため全ての発表はできない。

■選手の契約更改等について思う事。

これに関しては双方（選手とチームと）の守秘義務があるのでここで問う質問ではないかもしれないと言える範囲内をお願いしたい。

下堂選手に関しては今年の事を考えても絶対に死守すべき人材であった事。

仮に本人の意思が強かったのであれば仕方ないが無理しても抑えるべきと感じている。チームとしてはどこら辺まで譲歩したか。仮に最初の契約の時点から何もしていないのであれば考えるべき事とは。また平田選手の件については情報が出た時点でキャプテンを出すのか？という驚きとこの時期に報告をするのか？という事。（個人的には確かに昨年度は動きが悪くなっているのは多少見受けられたのもあるが、ベテラン選手なりチームの顔とは言わないが松本選手ように知名度のある選手をいとも簡単に切る傾向が最近は強すぎる）

今年度、期限付き移籍の選手を大量に取った事はチームの予算的な事と関係ないとは思っておらず、また、Jからの選手が大量に入ってきたなと思うが、そのほとんどが元のチームでは試合にあまり出ていない選手であり、本当の戦力はとなると多分今までと同じ状況を作ってしまうシーズン後半になると同じ光景を作るのではないかと思っている。あと、大卒からの選手が現時点で誰も入団していないというのは最初から今年はその方針だったのか。この事はチームが新人を育てるという流れに反する形になり今後のチームの柱を作る形が出来ないことにもならないか。

いずれのパターンを含めてどうしても選手を単なるコマにしか思えないところが見受けられる。これはチームが強くなるうえで致し方ないところではあるがチームの顔はともかく長期的にチームに居続けてくれる選手及び育成も大事ではないか。（シーズン終盤で引退する事が判ればファン感などを使ってサポーターを含めて皆で送ることも大事なのではないか）

→守秘義務がありますので、お応えできないところです。いろんな事が絡み合ってくる。選手の気持ち、プロ、アマ、契約の内容、判断基準がたくさんあり、その中で選手と交渉している。クラブ、選手、お互いにそれぞれ判断する権利があることをご理解いただきたい。また、Jクラブからの選手についてはいい補強になったと感じているので実際にみてもらいたい、楽しみにしてもらいたい。

■チームの地元との他チームとのあり方

地元出身者や高知大に入団の声はかけているのか。（そのレベルに達していないのであれば致し方ないところはあるが）

主に高知大学との連携はどうなっているのか。地元で愛されるチームを目指すのであれば上記のような対応も必要では。（コロナ禍で大学生がなかなか動きにくいというのはあるが普段からTMを行ってサブ組の底上げをできないものか）

来年以降、入団してくれる可能性のある選手はいるか。

→基本的に、四国内の大学とはなど練習試合などを行っている。高知に縁のある選手に入

団してもらいたいのは、クラブももちろん同感です。高知に縁の無い選手でも、高知の為に全力で戦ってくれている。また、Jクラブになるとホームグロウン制度もあるため、今まで以上に育成年代の地元選手を意識していく必要がある。

■Jクラブや他クラブではピッチサイドシートの販売や選手個人へのバックがあるような仕組みがあるが高知ではその予定はあるのか

→ピッチサイドシートなどの予定は今のところありません。

また、選手個人への件は、選手のウェア（イベント着）への個人スポンサーを募集しており、スポンサーとなった場合は選手への還元の仕事もできています。

■高知FDとの合併の予定や考えはあるのか

→企画やイベントなどは協力してやっており、今後も検討していく。

合併については、今のところそういう議論はありません。

■プロアマの契約公表は可能か

→クラブから公表はできません。

■トレーニングマッチの結果が芳しくないように思うが、今年も順位についてどうなのか
→個人的にはとても手応えを感じている。今の結果は、練習生なども混ぜて組み合わせも試しており、心配していないし期待している。

■4位以内を期待していいのか。貧乏クラブが金持ちクラブを倒してほしい

→おもしろいサッカーになると感じている。

他クラブもかなり強化しており、我々もパワーアップしているが他チームもパワーアップしているので苦戦することもあると思うが、ぜひ応援していただきたい。

武政社長：貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見はしっかり受け止め進んでいきたいと思っておりますので今年一年応援をよろしくお願ひしたい。